

## 氷見市立湖南小学校

氷見市立湖南小学校4年生の子どもたちは、「水と森の魅力を探ろう」をテーマに身近な河川環境調査を行いました。農業が盛んな湖南校下の農家では、化学肥料や除草剤をなるべく使わないようにするなど、環境を守るための取り組みを積極的に行っています。用水では、ゆるやかな流れで水質のよい場所にしか生息しないめずらしい貝を見つけました。水の汚れや川にすむ生きものにふれたことで、子どもたちの心には水環境への興味がわいてきました。

普段はなにげなく飲んでいる水道水について学習。



## みんなの心にも、きれいな水への愛情が流れている。

水質検査で用水の水をチエツク!



川の汚れや流れの速さも調査しました。



農業用水のpH度から水の性質を調べます。

水質調査をしてから、子どもたちは自分たちの飲み水と生物がすむ水とを関連づけて考えるようになりました。用水の汚れやゴミを無意識のうちに気にとめ、環境に興味を持ちはじめようようです。

4年生担任  
山口弘夫先生



川にはメダカも復活!うれしいな!



湖南地区の川は、環境的にとても恵まれています。両岸はコンクリート化されているものの川底には泥や砂があり、そこには絶滅危惧種の生物が繁殖している様子も見られます。田の栄養分が小川に流れでてくることが、生物にも影響を及ぼしていると考えられます。

研究成果を発表!  
地域の水環境を守ることの大切さを伝えました。



生きものがいつまでもすみやすい環境をつくってあげたいです。